

2021.01.福岡37会、

福岡県太宰府市・岩屋城跡、

福岡県宇美町・四王寺山(しおうじやま)のセリバオウレン、ラクウショウ



2021/01/25 8:42



焼米ヶ原駐車場



2021/01/25 9:53
大原山355m



セリバオウレン
(芹葉黄連)
キンポウゲ科



ラクウショウ(落羽松)
スギ科
別名: ヌマスギ(沼杉)落葉高木

活動データ

🕒 タイム 📍 距離 ⬆️ 上り ⬇️ 下り
02:09 **3.1 km** **79 m** **214 m**



行程：

鮎返りの滝駐車スペースに1台デポ～車
～岩屋城跡駐車スペース～岩屋城跡～岩屋城跡駐車スペース
に戻る～車～焼米ヶ原駐車場に移動し、登山開始
～大原山355m～小石垣～鮎返りの滝駐車スペース
～百閒石垣～鮎返りの滝駐車スペース～車
～焼米ヶ原駐車場～車～手づくりうどん 地車(だんじり)

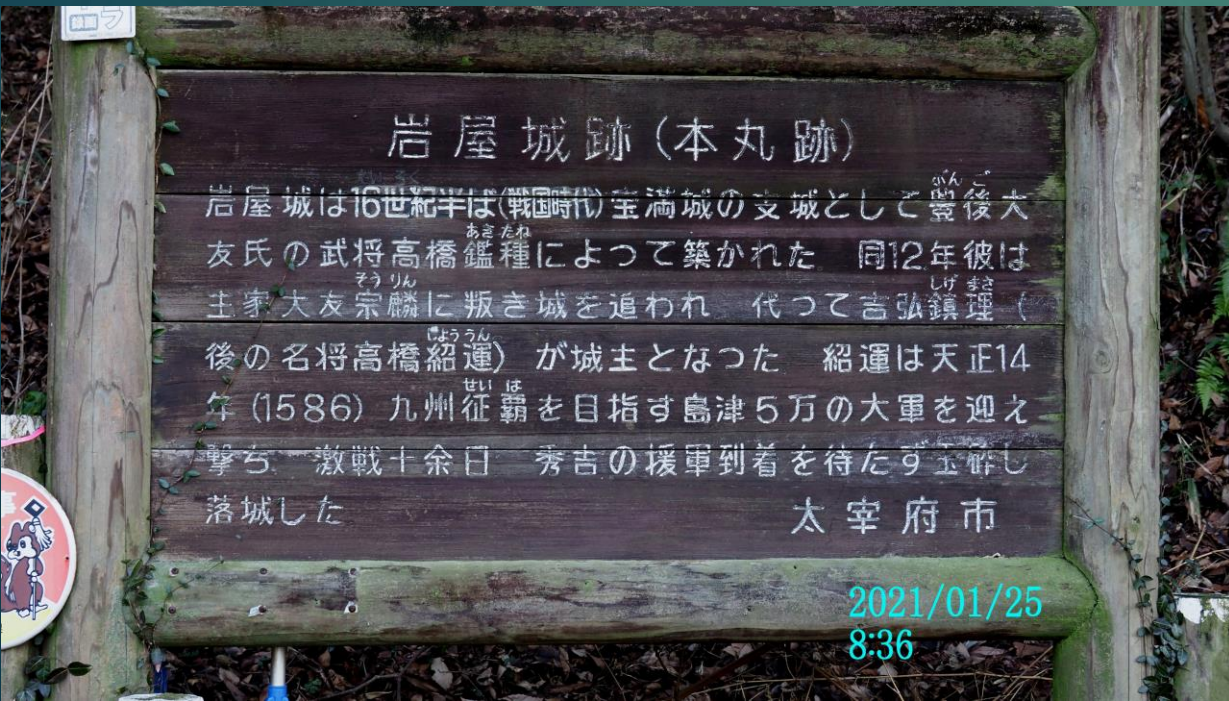




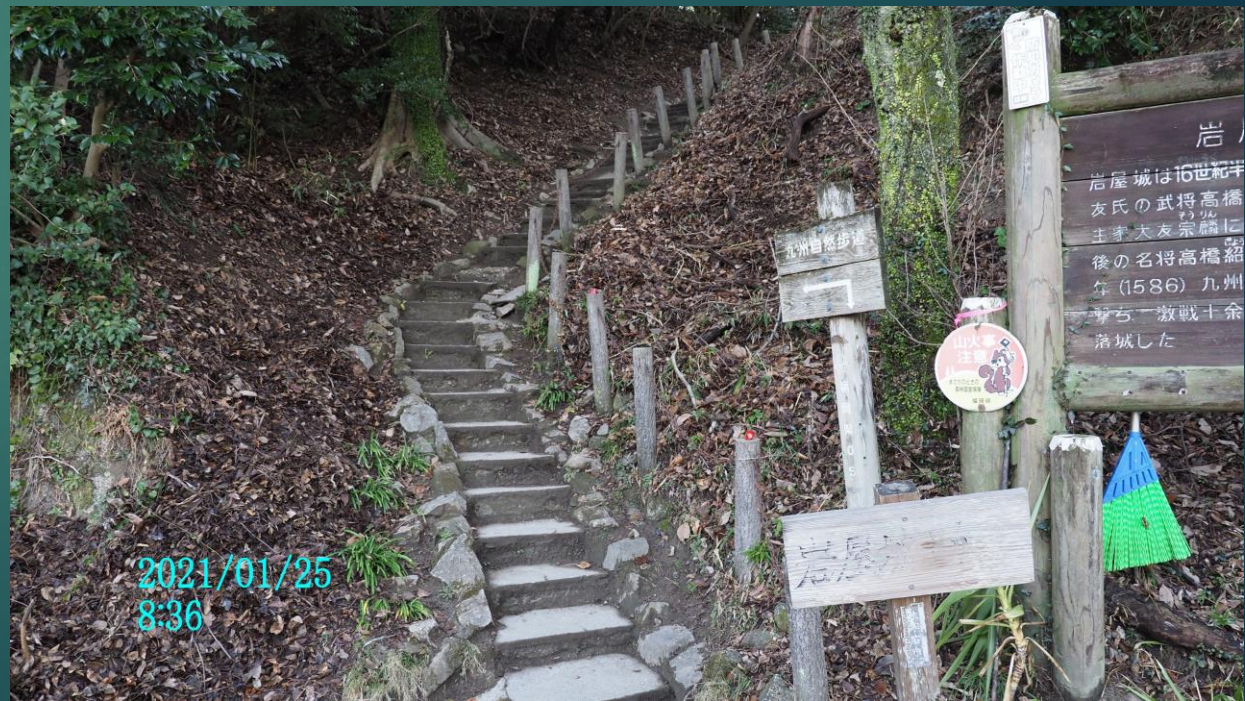
2021/01/25 8:35
岩屋城跡駐車スペース



2021/01/25 8:35



2021/01/25
8:36



2021/01/25
8:36

脊 振 山 系

背振山(せふりさん)1055m



井原山(いわらやま)983m



雷山(らいざん)955m



金山 (かなやま) 967m



油山597m

2021/01/25
8:39

背振山(せふりさん)1055m



2021/01/25
8:39

九千部山(くせんぶさん)848m



天拝山(てんぱいざん)257m

2021/01/25 8:41

基山 (きざん) 404m



天拝山(てんぱいざん)257m

大宰府政庁跡

2021/01/25 8:42



金山(かなやま)967m

井原山(いわらやま)983m

雷山955m

油山597m

高祖山(たかすやま)416m

2021/01/25 8:44



2021/01/25 8:42

金山(かなやま) 968m



井原山(いわらやま) 983m



雷山(らいざん) 955m



油山 597m



砥上岳(とがみだけ)496m



九州国立博物館

2021/01/25
8:49

頭巾山(とっきんざん)901m

仏頂山869m 宝満山829m

愛嶽山
(おだけさん)
439m

2021/01/25 8:53

ほう まん ざん

宝満山

き もん

古代大宰府の北東の鬼門に位置する標高829.6mの山で、古くは御笠山みかさや竈門山かまどと呼ばれていた。山麓には紅葉の美しい竈門神社下宮かまどが鎮座ちんざする。山中には奈良時代から江戸時代にかけての建物跡や坊跡が残されている。

Mt. Hōman

Long ago, Mt. Hōman was worshipped as a sacred peak.

호우만잔(보만산)

옛부터 영산으로써 숭배되어 왔다.

だ ざい ふ てん まん ぐう

太宰府天満宮



すが わらのみち ざね さい じん

菅原道真すが わらのみち ざねを祭神さい じんとし、学問の神様として知られている。境内はクスと梅とび うめに覆われ、本殿前には有名な飛梅がある。

Dazaifu Tenmangū Shrine

Dazaifu Tenmangū Shrine is the site at which the scholar Michizane Sugawara, also known as "the god of learning," is deified.

다자이후텐만구

학문의 신 스가와라노 미치자네 (菅原道眞)를 모시고 있다.

かん ぜ おん じ
観世音寺



さい めい ぜん じ
齊明天皇の供養のため天智天
皇が建立を^{ほつ がん}発願し、奈良時代に
完成した古刹。隣接する^{かい だん いん}戒壇院
は天下の三戒壇のひとつである。

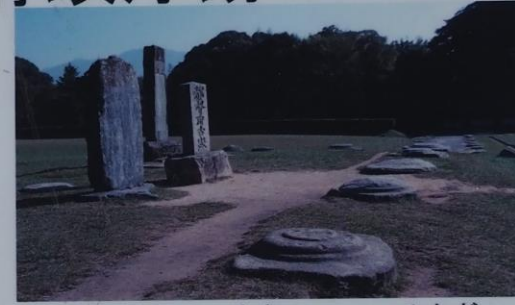
Kanzeonji Temple

Kanzeonji was built in memory of the
late Empress Saimei by Emperor Tenji.
It was completed in 746A.D.

칸제온지

사이메이 (齊明) 천황의 추도를 위해
덴지 (天智) 천황의 발원으로 세워진 절이다.
나라 (奈良) 시대에 완성되었다.

だ ざい ふ せい ちよう あと
大宰府政庁跡



古代に「^{とお みかど}遠の朝廷」と呼ば
れた大宰府の^{ちゆう すう ぶ}中枢部で、現在
も礎石が整然と並ぶ。正面に
^{き い じょう}基肄城、背後に^{おお の じょう}大野城を配し
ている。

Site of Dazaifu Government Office

On this site lay the great public
office from which what is now Kyushu
was administered in ancient times.

다자이후 유적

고대에 현재의 규슈 (九州) 지역을
관리하던 관공처의 유적이다.

ちく ぜん こく ぶん じ あと
筑前国分寺跡



741年全国に造られた国分寺のひとつ。巨大な塔心礎が残る塔跡や講堂の基壇きだんが整備され、近くの文化ふれあい館には七重塔の復元模型がある。

Ruins of Chikuzen Kokubunji Temple
These are the ruins of a temple built in the eighth century.

치쿠젠코쿠분절 유적
8세기에 세워진 절의 유적이다.

みず き あと
水城跡



はく すき のえ
663年の白村江の戦いの敗戦後に、博多側からの外敵侵入に備え、丘陵間ふさを塞ぐように築造された全長1.2km、高さ9mの土塁である。

Ruins of Mizuki

Mizuki was built in 664A.D. to defend Dazaifu against a possible invasion from Tang China and /or the Korean kingdom of Silla.

미즈키유적

서기664년, 일본이 한국의 신라와 중국의 당의 침입에 대비하여 쌓은 성이다.

岩屋城跡

この場所は、岩屋山(標高281m)と称し、戦国時代には岩屋城の本丸(甲の丸)であったと伝えられている。林道で分断された南側下方には二の丸跡があり、1586年の岩屋城の合戦で討死した城主の高橋紹運たか はし じょう うんの胴塚がある。また、この主郭しゅ かくの周囲しゅう かいから山麓にかけての広範囲ひろ はん いに、曲輪まが ぐる わ(平坦面)、豎堀たて ほり、堀切ほり きりも残されている。

また、本丸跡にある「嗚呼壯烈岩屋城址あ あ そう れつ いわ や」の碑は、昭和30年に高橋紹運の家臣の子孫によって建てられたものである。

Site of Iwaya Fortress

A fortress that once stood on this site was the scene of a great battle in 1586, in which more than 700 warriors led by Shoun Takahashi perished at the hands of an army sent by the Shimazu Clan of Satsuma (Kagoshima Prefecture).

이와야성 유적

1586년 전국시대 분고쿠니의 영주 오오토모는 사츠마쿠니의 영주 시마츠의 공격을 받아 이곳에서 오오토모의 휘하의 사무라이 다카하시 죠운을 비롯한 700여명이 전사했다.

平成29年 太宰府市教育委員会





特別史跡 おおのじょうあと 大野城跡

所在地 宇美町、太宰府市、大野城市
史跡指定 昭和7年7月23日
特別史跡指定 昭和28年3月31日



大宰府の近衛綱

大野城とは

ここ四王寺山の一帯には、今から1300年以上前の665年に築かれた朝鮮式山城の跡があります。名を大野城といい、頂上頂全体を囲むように土や石の城壁を巡らし、その中に建物を建てました。約70棟の建物跡が見つかっており、そのほとんどが高床の倉庫と考えられます。城壁は総延長約8kmにおよび、現在のところ、9箇所(城門)が確認されています。

この大野城は同時に築かれた基肄城(眼下の平野をさんで向い側(南)にある基山)、前年の664年に造られた水城とともに大宰府地域を守る役目を果たしました。

大野城が築かれた理由

7世紀の中頃、朝鮮半島では高句麗・新羅・百済の三国が抗争を繰り返し、唐と手を結んだ新羅から、百済と日本の連合軍は大敗するという事件(白村江の戦い)が起きます。唐と新羅の侵攻を恐れた日本は九州北部を中心に防衛網を作りますが、その一つが大野城、基肄城、水城です。

城の構造(城壁と建物)

城壁の尾根の部分には土塁(土をつき固めて積み上げる工法を用いた城壁)、谷の部分には石垣を築いています。

高床倉庫があった場所には、現在、礎石(柱が立っていた)だけが残っています。倉庫内には米などを収納していたと考えられます。この近くの倉庫群跡(尾花礎石群)周辺からは炭化した米が見つかったため、焼米ヶ原と呼ばれています。

四王寺山の名

築造開始から、約100年経った奈良時代末、大野城内に四天王寺を建て、仏教の力で国を守ろうとしました。四王寺山という今の名は、この時の寺の名に由来するものです。



八ッ坂礎石群



百聞石垣



城門等位置図



尾花地区土塁



太宰府口城門跡

大野城と万葉集

奈良時代の人は大野城があったこの山を大野山、大城山と呼び、歌に詠みました。

大野山霧立ち渡る我が嘆く
おきその風に霧立ち渡る 山上憶良
(大野山に霧が立ち渡る わたしの嘆くため息の風で霧が立ち渡る)
今もかも大城の山にほととぎす
鳴きとよむらむ我なけれども 大伴坂上郎女
(今も大城の山ではほととぎすが鳴き立っていることだろう、わたしがいなくても)

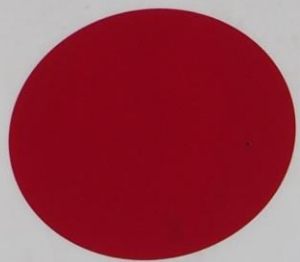
平成14年3月31日 国史 大野山霧立ち渡る我が嘆く
大野山霧立ち渡る我が嘆く
大野山霧立ち渡る我が嘆く
大野山霧立ち渡る我が嘆く



焼米ヶ原駐車場



2021/01/25
9:13



JAPAN HERITAGE

日本遺産

太宰府市の日本遺産
古代日本の『西の都』
～東アジアとの交流拠点～



日本語



For tourist

<http://www.dazaifu-japan-heritage.jp/>
This page supports Japanese, English, Chinese and Korean.

大野城跡

おおのじょうあと

Onojo
Fortress
Ruins

1350年前、朝鮮半島の百済国からの亡命貴族らとともに自然地形を生かし築造された古代山城。百済の都・扶余の扶蘇山城に擬えられ、水城跡とともに百済系都城の姿を今に伝える。ここから大宰府全体を一望でき、遠く玄界灘も望むことができる。

【特別史跡】

平成31年 太宰府市

この看板の製作には「歴史と文化の環境税」を活用しています

2021/01/25
9:13

頭巾山901m



仏頂山869m→

宝満山829m



↑
三郡山936m

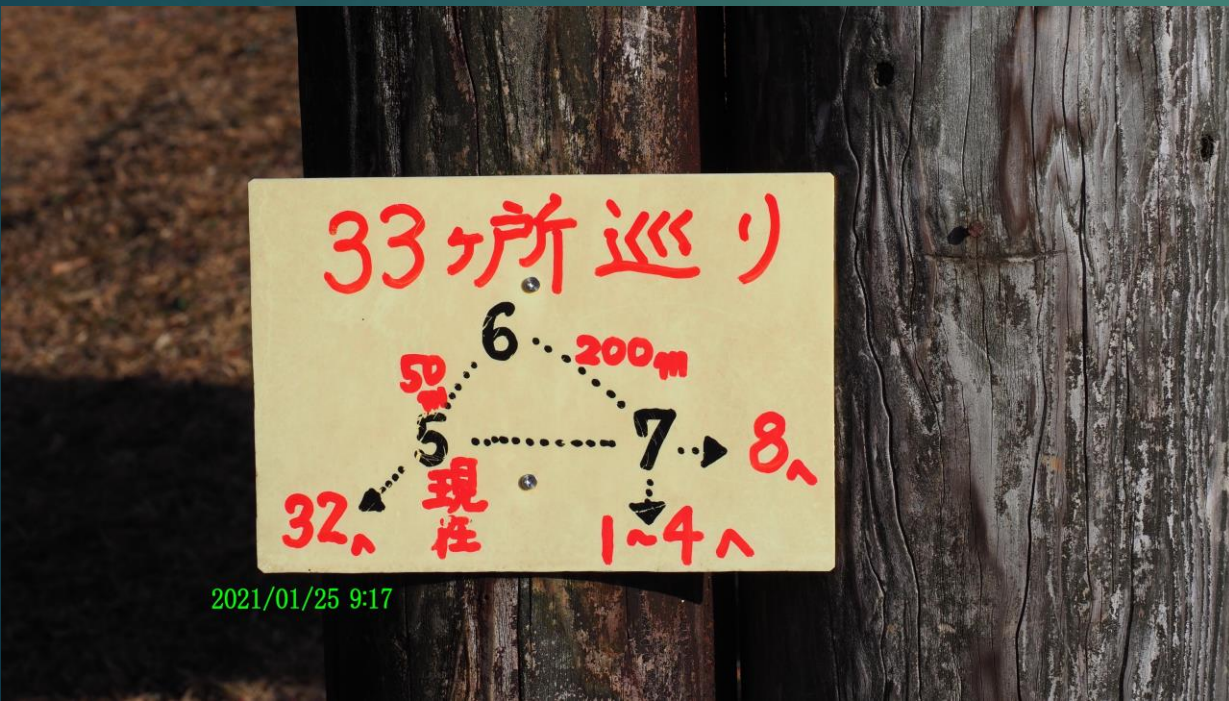
2021/01/25 9:15



2021/01/25 9:16



2021/01/25 9:17



2021/01/25 9:17



2021/01/25 9:18

若杉山681m

2021/01/25
9:22

四王寺 33ヶ所
10番札所



10番 観音菩薩

四王寺 33ヶ所
霊場 第10札所



2021/01/25
9:33



2021/01/25
9:33

頭巾山(とっきんざん)901m
↓
三郡山(さんぐんざん)936m→

2021/01/25 9:35
遠見所からの展望



若杉山 681m

鬼岩山 549m

2021/01/25 9:39



若杉山 681m

遠見所からの展望

2021/01/25 9:36

遠見所からの展望



立花山(たちばなやま) 367m

2021/01/25 9:37
遠見所からの展望



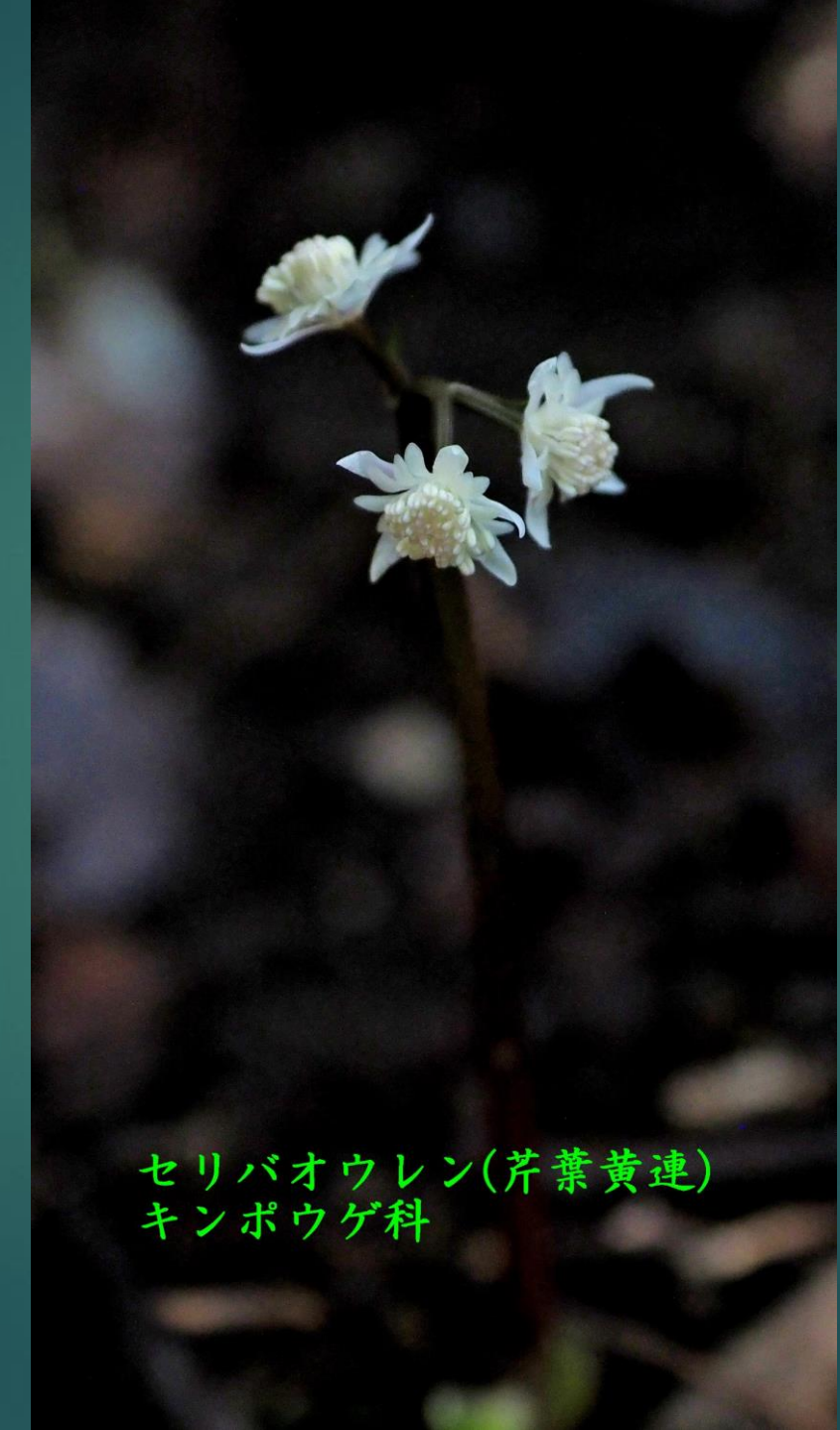
立花山(たちばなやま) 367m

2021/01/25 9:36
遠見所からの展望





セリバオウレン
(芹葉黄連)
キンポウゲ科



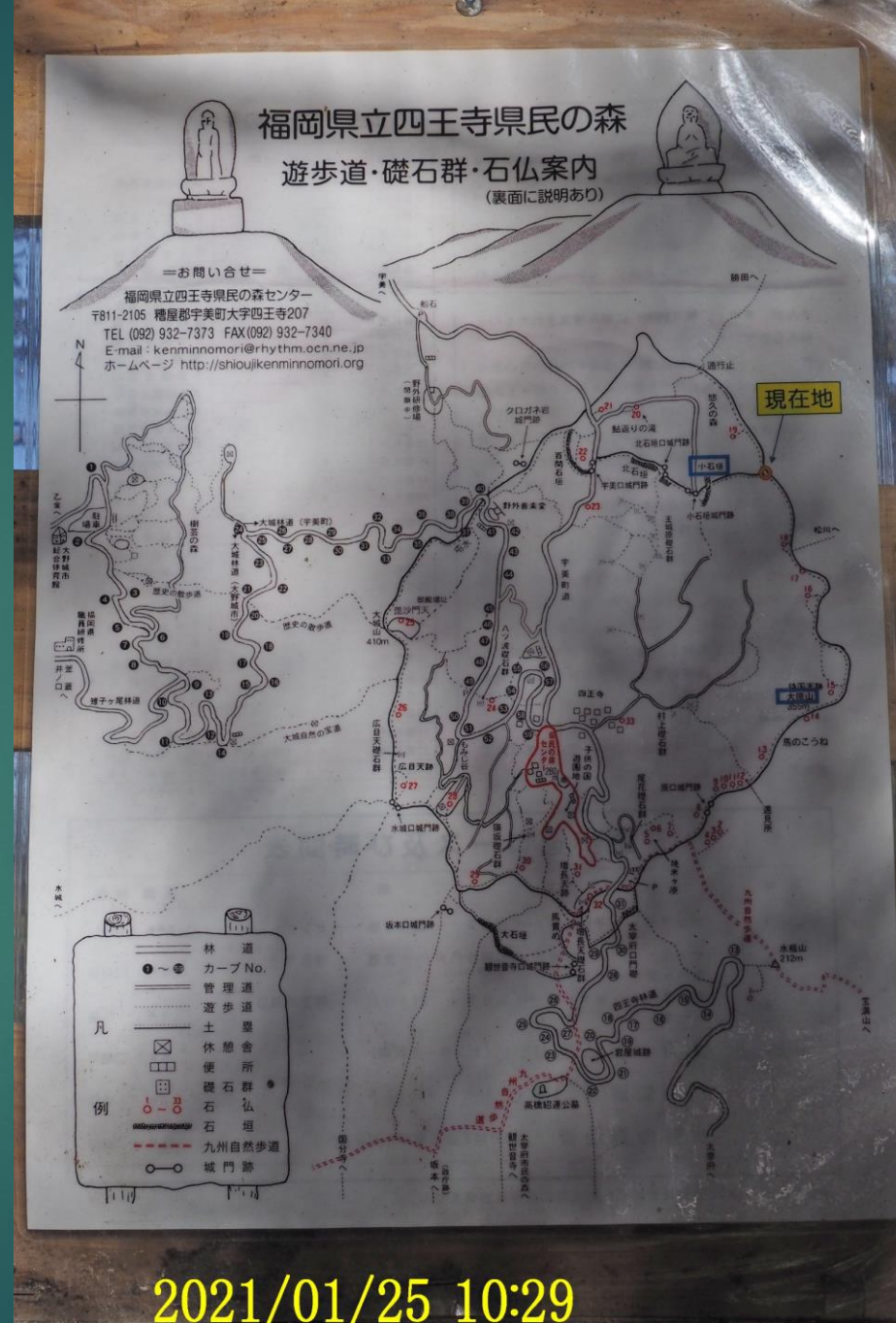
セリバオウレン(芹葉黄連)
キンポウゲ科



セリバオウレン(芹葉黄連)
キンポウゲ科



2021/01/25
10:28



2021/01/25
10:28

2021/01/25 10:29

フユイチゴ(冬莓)
バラ科



2021/01/25 10:37
小石垣

フユイチゴ(冬莓)
バラ科



2021/01/25
10:40



10:41 小石垣

こいしがき
特別史跡 大野城跡 小石垣

大野城は、663年（天智2）白村江の敗戦を期に西日本各地に築かれた山城の一つで、水城・基肆城とともに大宰府を守る役割を担っていた。周囲6.5kmを土塁（高い土手）で取り囲み、谷は石塁（石積みのダム）で塞ぎ、要所に門をつくり城内に武器や穀物を納めたたくさんの倉庫などを作った。

小石垣は城の東北部にあり、二重土塁の内側の石塁である。石塁はほとんど崩れてしまったが、上端幅5m・高さ10m・両岸間30mほどで、水門もあったのだろう。見えている石垣のほか地下に残っている部分がある。

大野城 全体図



小石垣 復原図





鮎返りの滝へ

2021/01/25 10:43

ハゼノキ (榎の木、黄榎の木)
ウルシ科



ヤシャブシ (夜叉倍子)
カバノキ科 バイオニアプランツ



ヤシャブシ (夜叉倍子)
カバノキ科 バイオニアプランツ



ラクウショウ（落羽松）はヒノキ科（またはスギ科）ヌマスギ属の針葉樹

特徴

北アメリカ原産の落葉針葉高木。アメリカ大陸東南部からメキシコに分布するが、日本にも移植され公園などで見られる。湿潤地に適し、沼沢地での根元が少し水につかった状態（冠水）で自生することが多い。このため日本ではヌマスギと呼ばれる。

花は雌雄異花で開花期は4月頃。果実は緑色の球形である。葉はメタセコイアに似るが、メタセコイアが対生するのに対して、本種は互生するのが鑑別点となる。湿地に植えると、幹の周りに呼吸のための呼吸根（気根）が出てくる。膝根とよばれる。湿地に向いた木であるが、通常の土地でも植栽できる。繁殖は実生、挿し木。

別名・和名は**ヌマスギ**（沼杉）


木材としての用途

辺材は器具に、心材は精油を適度に含みながらも大きな気室を持つ細胞構造であるため、軽量で土中や水中で腐朽しにくいその特質を生かし土木（枕木など）、船舶材、建築（屋根板など）などとしても利用される（出典：ウィキペディア）

ラクウショウ(落羽松)
スギ科
別名：ヌマスギ(沼杉)落葉高木



ラクウショウ(落羽松)
スギ科
別名：ヌマスギ(沼杉)落葉高木



ラクウショウ(落羽松)
スギ科
別名：ヌマスギ(沼杉)落葉高木



サザンカ (山茶花)
ツバキ科





四王寺33ヶ所石仏
20番札所

四王寺33ヶ所石仏
第20番札所

2021/01/25 10:57

札



2021/01/25 10:59
鮎返りの滝



2021/01/25 11:00
鮎返りの滝



サザンカ(山茶花)
ツバキ科



特別史跡 おおのじょうあと

大野城跡

所在地 宇美町、太宰府市、大野城市
指定日 昭和28年3月31日

大野城

大野城は白村江の戦（663）の後、唐・新羅からの侵襲に備えて西日本各地に築かれた山城の一つで、北西の水城、南方の基肄城とともに大宰府政府を中心とした防衛ラインを形成していました。この山城は百濟の亡命高官2名による戦略的・技術的指導のもと築城されたことが『日本書紀』に記されることから、一般に朝鮮式山城と呼ばれています。大野城は政庁の北に聳える四王寺山中（標高約409m）にあり、北は博多湾から南は筑後方面を眼下に納める絶好の場所に立地し、山頂と山腹に土塁が谷間には石垣が構築されています。現在、確認されている城内への入口は5ヶ所あり、食料の備蓄や居住に利用されたと考えられる70棟余りの建物が丘陵を造成した平坦面に残されています。



大宰府史跡と大野城跡



大野城跡全体図



太宰府口城門

増長天徳石群



大石垣（平成10年当時）

水城口城門礎石



百間石垣案内図



石垣の基礎

見つかった礎石



石垣裏から見つかった版築

土砂災害

平成18年3月 福岡県教育委員会

百間石垣

百間石垣は大野城の北の要（宇美口）に位置し、石垣の全長は150m以上あり城内最大の規模を誇ります。石垣の大半は頑強な岩盤の上に構築され、裏込めに栗石を使用した透水性の高い断面構造をなし、石垣の両側には地下水を排出するための吐水口が設置されるなど、水に配慮した当時の技術の高さを窺い知ることができます。

昭和48年の水害によって百間石垣の前を流れる川が氾濫、土砂崩れも重なり石垣は大きな被害を受けました。復旧工事に併せ発掘調査を行ったところ、石垣の基礎や川の中から城門の礎石と考えられる石材が発見されました。平成13年度からは石垣の保存のために修理が始められ、この時行われた工事で中央の石垣の裏から版築状の盛土が発見されるなど新たな知見を得ることができました。ところが平成15年7月の集中豪雨によって山林が崩壊、この土砂災害によって百間石垣は甚大な被害を受けました。工事は一時中断しましたが、復旧に取り組んだ結果、現在のような姿にみごとく復旧されました。



2021/01/25 11:10
百間石垣



2021/01/25
11:11
百間石垣

2021/01/25 11:10



2021/01/25 11:11
百間石垣



ムラサキケマン(紫華鬘)
ケシ科



ムラサキケマン(紫華鬘)
ケシ科





2021/01/25
11:46

手作りうどん
地車 (だんじり)
大野城市



昼食は、
地車 (だんじり)
セット750円



2021/01/25
11:47



2021/01/25 11:47

END